

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト  
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 黒松 達

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

TEL 03-3222-3265

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,997	△5.6	△920	—	△907	—	△1,137	—
23年3月期第2四半期	8,475	△11.8	△636	—	△535	—	△594	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,139百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 608百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△283.41	—
23年3月期第2四半期	△133.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	11,707	2,816	24.1	701.96
23年3月期	11,584	4,035	34.8	1,005.92

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,816百万円 23年3月期 4,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年3月期の配当予想については現時点では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	6.5	280	—	280	—	90	—	22.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	4,612,086 株	23年3月期	4,612,086 株
24年3月期2Q	600,070 株	23年3月期	600,070 株
24年3月期2Q	4,012,016 株	23年3月期2Q	4,455,439 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から一時緩やかに回復の兆しが見られたものの、継続的な円高、欧州諸国の財政問題による世界的な景気後退懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。国内写真関連市場においても、個人消費の低迷やプリント需要の減少など厳しい経済環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは構造改革に取り組むため「チェンジ&チャレンジ」をスローガンに掲げ、主に小型店舗などの不採算店舗の閉鎖を進め、店舗数の減少など環境の変化に伴い希望退職も実施するなど経費圧縮に努める一方、イメージング事業において、首都圏を中心に、優良立地における既存店舗をリニューアルしたパレットプラザ フォト&スマートフォンショップを新たに開発し、20店舗を出店いたしました。

モバイル事業においては、各通信事業者がスマートフォンを中心に新機種導入を推し進めている状況の中、スマートフォンを中心に販売台数が順調に推移致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、79億97百万円（前年同期比5.6%減）となりました。利益面では、グループを挙げての経費圧縮に努めましたが、出店費用などもあり、営業損失9億20百万円（前年同期：営業損失6億36百万円）、経常損失9億7百万円（前年同期：経常損失5億35百万円）、四半期純損失は、希望退職の実施に伴う特別損失1億40百万円等により11億37百万円（前年同期：四半期純損失5億94百万円）となりました。

セグメント別では、イメージング事業は、店舗数の減少の影響もあり、売上高59億26百万円（前年同期比10.4%減）、セグメント損益は7億81百万円の損失（前年同期：5億5百万円の損失）となりました。

モバイル事業は、売上高16億78百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント損益は39百万円の損失（前年同期：14百万円の利益）となりました。

その他の事業は、売上高3億92百万円（前年同期比28.7%増）、セグメント損益は85百万円の損失（前年同期：44百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加し、117億7百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が2億23百万円増加し、商品及び製品が1億77百万円増加した一方、敷金及び保証金が2億21百万円、有形固定資産が1億4百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は、前連結会計年度末に比べ13億43百万円増加し、88億91百万円となりました。主な要因は、短期借入金が15億3百万円増加し、長期借入金が4億47百万円減少し、希望退職者の退職給付引当金の取崩し2億94百万円及び流動負債のその他が4億5百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は、前連結会計年度末に比べ12億19百万円減少し、28億16百万円となりました。主な要因は、四半期純損失11億37百万円、配当金の支払額80百万円により利益剰余金が12億17百万円減少したことなどによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加し、16億70百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が4億35百万円増加し8億37百万円の支出（前年同期比108.4%増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失の増加5億50百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億55百万円減少し72百万円の支出（前年同期比68.1%減）となりました。主な要因は、その他の収入の増加1億67百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が6億27百万円増加し11億40百万円の収入（前年同期比122.2%増）となりました。主な要因は、短期借入金及び長期借入金並びに社債の増加額3億62百万円（前年同期比42.3%増）及び前年同期に自己株式の取得による支出2億54百万円が当第2四半期連結会計期間になくなったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では、平成23年9月2日付け公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更しておりません。

下期の最大の商機である第3四半期における年賀需要等に全力で取り組むとともに、店舗拡充によるiPhone 4Sをはじめスマートフォンの拡販により従来どおりの通期の業績を見込んでおります。

なお、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,730,515	1,953,644
受取手形及び売掛金	620,413	745,760
商品及び製品	878,876	1,055,941
原材料及び貯蔵品	263,866	265,368
その他	840,942	793,676
貸倒引当金	—	△390
流動資産合計	4,334,615	4,814,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,651,273	2,608,976
減価償却累計額	△1,885,485	△1,779,331
建物及び構築物(純額)	765,787	829,645
機械装置及び運搬具	5,921,030	5,732,739
減価償却累計額	△4,736,064	△4,753,657
機械装置及び運搬具(純額)	1,184,965	979,082
土地	1,348,624	1,368,624
その他	1,436,651	1,511,727
減価償却累計額	△1,146,764	△1,203,930
その他(純額)	289,887	307,796
有形固定資産合計	3,589,264	3,485,148
無形固定資産		
のれん	27,993	7,974
その他	408,250	389,100
無形固定資産合計	436,243	397,075
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,525,445	2,303,962
その他	1,007,136	1,009,791
貸倒引当金	△316,711	△314,536
投資その他の資産合計	3,215,869	2,999,217
固定資産合計	7,241,378	6,881,441
繰延資産		
社債発行費	8,215	12,524
繰延資産合計	8,215	12,524
資産合計	11,584,210	11,707,966

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	539,881	670,018
短期借入金	2,098,600	3,602,004
1年内償還予定の社債	60,000	100,000
未払法人税等	40,575	18,671
賞与引当金	66,380	61,120
ポイント引当金	54,400	10,000
その他	692,491	1,098,464
流動負債合計	3,552,328	5,560,279
固定負債		
社債	240,000	370,000
長期借入金	2,672,401	2,224,897
退職給付引当金	473,189	178,771
長期預り保証金	494,029	445,280
その他	116,505	112,449
固定負債合計	3,996,125	3,331,398
負債合計	7,548,453	8,891,677
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,017,880	1,017,880
資本剰余金	265,346	265,346
利益剰余金	3,167,858	1,950,559
自己株式	△395,774	△395,774
株主資本合計	4,055,310	2,838,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,553	△21,723
その他の包括利益累計額合計	△19,553	△21,723
純資産合計	4,035,756	2,816,288
負債純資産合計	11,584,210	11,707,966

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,475,577	7,997,674
売上原価	4,517,063	4,588,053
売上総利益	3,958,513	3,409,620
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	356,377	400,420
給料手当及び賞与	763,191	750,948
賞与引当金繰入額	67,002	57,842
雑給	982,212	835,674
賃借料	744,861	672,112
のれん償却額	21,503	21,518
その他	1,660,304	1,591,312
販売費及び一般管理費合計	4,595,452	4,329,829
営業損失(△)	△636,939	△920,208
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,300	2,334
負ののれん償却額	132,988	—
協賛金収入	7,600	35,399
その他	27,904	38,483
営業外収益合計	170,794	76,217
営業外費用		
支払利息	49,080	46,136
その他	20,559	17,078
営業外費用合計	69,640	63,214
経常損失(△)	△535,785	△907,206
特別利益		
固定資産売却益	18,876	11,596
貸倒引当金戻入額	3,356	—
償却債権取立益	10,562	—
受取補償金	17,000	8,000
特別利益合計	49,794	19,596
特別損失		
減損損失	27,352	48,378
固定資産除却損	20,582	—
店舗閉鎖損失	2,816	24,262
賃貸借契約解約損	10,730	—
特別退職金	—	140,609
災害義援金	—	25,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28,455	—
特別損失合計	89,938	238,751
税金等調整前四半期純損失(△)	△575,928	△1,126,360
法人税、住民税及び事業税	16,957	13,959
法人税等調整額	1,612	△3,262
法人税等合計	18,570	10,697
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△594,499	△1,137,058
四半期純損失(△)	△594,499	△1,137,058



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△594,499	△1,137,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,671	△2,169
その他の包括利益合計	△13,671	△2,169
四半期包括利益	△608,171	△1,139,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△608,171	△1,139,227
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△575,928	△1,126,360
減価償却費	574,192	426,921
減損損失	27,352	48,378
のれん償却額	21,503	21,518
負ののれん償却額	△132,988	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,421	△1,784
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△70,090	△294,418
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△21,800	△44,400
受取利息及び受取配当金	△2,300	△2,334
支払利息	49,080	46,136
固定資産売却損益(△は益)	△18,876	△11,596
固定資産除却損	20,582	—
売上債権の増減額(△は増加)	44,166	△123,485
たな卸資産の増減額(△は増加)	△282,757	△177,017
仕入債務の増減額(△は減少)	110,910	130,136
その他	△63,446	345,931
小計	△321,821	△762,374
利息及び配当金の受取額	2,975	3,004
利息の支払額	△49,910	△46,327
法人税等の支払額	△33,175	△32,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	△401,931	△837,805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	9,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△189,340	△234,564
有形固定資産の売却による収入	33,216	19,327
無形固定資産の取得による支出	△95,000	△47,522
投資有価証券の取得による支出	△5,367	△1,968
貸付金の回収による収入	1,362	536
その他	17,768	185,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,360	△72,808
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	357,040	1,671,000
長期借入れによる収入	1,800,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,229,133	△1,015,100
社債の発行による収入	—	194,782
社債の償還による支出	△70,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△254,577	—
配当金の支払額	△89,908	△79,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	513,421	1,140,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,969	△1,255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△122,841	229,128
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,084	1,441,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,747,243	1,670,644

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	イメージング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,613,775	1,557,112	8,170,887	304,690	8,475,577	—	8,475,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,710	539	4,249	8,426	12,676	△12,676	—
計	6,617,485	1,557,651	8,175,137	313,117	8,488,254	△12,676	8,475,577
セグメント利益 又は損失 (△)	△505,757	14,146	△491,610	△44,065	△535,676	△109	△535,785

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常損失 (△) と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「イメージング事業」セグメントにおいて、店舗について過去2期連続赤字店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては27,275千円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	イメージング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,926,730	1,678,776	7,605,507	392,166	7,997,674		7,997,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,741	567	19,309	15,922	35,231	△35,231	—
計	5,945,472	1,679,344	7,624,816	408,089	8,032,905	△35,231	7,997,674
セグメント利益 又は損失 (△)	△781,788	△39,276	△821,064	△85,865	△906,930	△275	△907,206

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常損失 (△) と調整を行っております。

4. イメージング事業において、デジタルプリントサービスとスマートフォンなど通信端末を取り扱う複合ショップを展開しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、退店の確定した店舗又は過去2期連続赤字店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「イメージング事業」は45,552千円、「モバイル事業」は2,825千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。